

男	1759人	(-4)
女	1850人	(-1)
人口	3609人	(-5)
世帯	1491世帯	(-2)

清里公民館で学習・交流して楽しもう!

健康寿命を延ばそう

●清里いきいき身体づくり教室
参加者募集

コロナ禍で体力の低下を感じている方、この機会にぜひご参加ください。参加費無料で参加者には健康に関する粗品を贈呈!! ■内容①リハビリ専門職員によるわかりやすい身体の話と効果的な運動を実践します。※運動ができる服装で、タオルや飲み物など各自持参 ■日時①12月21日(火)午後1時30分〜午後3時 ■場所①清里公民館ホール ■募集対象・人数①清里地区在住、在勤、在学の方先着40名 ■受付開始は11月10日(水)から

●寝相アート®の開催

来年の年賀状用に講師の指導で寝相アート®の写真撮影する講座を開催します。歩き始める前までの乳幼児のいる家庭が対象です。参加費無料で6名まで。撮影機器と衣装はご用意ください。予約制で順番に撮影をします。詳細は、左の2次元コードでご確認ください。 ■日時①11月25日(木)午前10時〜正午。お問い合わせは清里公民館へ



●子供向け上映会の開催

子どもたちが楽しめる16ミリフィルム上映会を清里公民館ホールで行います。入場無料で各回45名まで。詳細は、左の2次元コードでご確認ください。 ■内容①11月17日(水)ムーミンほか1話②12月18日(土)スノーマンほか1話。各日午前10時と午前11時の回があります。お問い合わせは清里公民館へ



●人権について考える

「清里映画会」の開催

清里公民館ホールを会場として、人権について考える・清里映画会を開催します。上映する映画では、身近なできごとから人権について理解できる内容になっています。どなたでもお気軽にご参加ください。 ■内容①ホーム・スイートホーム「誰にでも帰りたい家がある」(痴呆症で徘徊を繰り返すひとりの老人の家族とそれを取り巻く心優しい人達とのふれあいと絆の物語) ■日時①11月20日(土)午前9時30分〜午前11時30分まで ■場所①清里公民館ホール ■募集人数①50名(定員になり次第締め切ります) ■入場無料・申し込みは11月17日(水)まで

●手をつなぐ作品展・地域の障害福祉サービス事業所(ゆずりは会)活動紹介の開催

活動紹介の開催



※申込みは、いずれも窓口へ直接申込、または、電話：251-9005で(受付：平日 午前8時30分〜午後5時15分) また、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止する場合があります。

前橋市手をつなぐ育成会の「手をつなぐ作品展」と社会福祉法人ゆずりは会の障害福祉サービス事業所「ゆずりは・菜の花」の活動について紹介します。ぜひご覧ください。 ■日時①11月10日(水)〜22日(月)午前8時30分〜午後5時15分(土・日曜日を除く) ■場所①清里公民館ロビー

■マイナンバーカード出張申請のご案内

清里市民サービスセンター(清里公民館)では次の予定で行われます。

- 受付日時：11月15日(月)午前10時〜午後4時 ※混雑状況により受付時間内でも受け付けを締め切る場合があります。
- 受付内容：①マイナンバーカード申請受付②マイタク申請受付
- 持ち物：通知カード、運転免許証など顔写真付きの本人確認書類1点(ない人は保険証や年金手帳など2点) 詳しくは市民課へお問合せ下さい。
- その他：顔写真を無料で撮影します。持ち物がそろっていれば、できあがったカードは郵送でお届けします。マイナンバーカードの取得には申請から2〜3か月お時間がかかります。マイタクは来年度からマイナンバーカードの利用に限定されます。この機会にマイナンバーカードへの切り替えをお願いします。
- 問合せ先電話番号
 - ・マイナンバーカード(市民課) 898-6101
 - ・マイタク(交通政策課) 898-5844



♪ 清里公民館自主学习グループ紹介

陶芸清里(昼の部)

世界にたった一つの作品を創ることが出来ます。

- 代表者 高川 美知子
- 活動日 第1・3水曜
- 活動時間 午前9時〜午後1時30分
- 会費 月 1,000円



今月の納税のお知らせ

国民健康保険税
5期(普通徴収分)

11月30日(火)まで

きよさと子育てサロン再開のお知らせ

開催日：11月10日(水)・24日(水)
時間：午前10時〜11時30分
場所：清里公民館 和室
対象：就園前の乳幼児とその親
参加費：無料(予約は要りません)
内容：自由遊び



清里地区青少年健全育成会から

少年の日フェスティバル中止のお知らせ

令和3年度の少年の日フェスティバルと前橋のこどもを明るく育てる活動事業は、関係者の皆様の検討の結果、新型コロナウイルス感染拡大予防及び参加者の安全最優先のため中止することになりました。

図書室だより

新着図書案内



一般書

- | | |
|------------------|---------|
| 京都伏見のあやし甘味帖[7] | 柏 てん |
| 優しい嘘(くらがり同心裁許帳) | 井川 香四郎 |
| 京都祇園もも吉庵のあまから帖4 | 志賀内 泰弘 |
| シークレット・エクスプレス | 真保 裕一 |
| オルレアン魔女 | 稲羽 白菟 |
| 諦めの価値 | 森 博嗣 |
| 逝ってしまった君へ | あさの ますみ |
| 恋する昭和 | 芝木 好子 |
| 大人の日帰り旅 [2021]秋冬 | |
| 脱力ヨガ | 谷戸 康洋 |

児童書・絵本

- | | |
|---------------------------|----------|
| おばけガムをたべちゃった!(おばけマンション48) | むらい かよ |
| 科学探偵怪奇事件ファイル 襲来!宇宙人の謎 | 佐東 みどり |
| 崖の下の魔法使い | 吉野 万理子 |
| 竜とそばかすの姫 | 細田 守/原作 |
| ヘンテコおりがみ | 笹川 勇 |
| おしえてくやさーい | わたなべ あや |
| オニのサラリーマン じごく・ごくらく運動会 | 富安 陽子 |
| こぶたのメアリとあたらしいおともだち | どう なつみ |
| ふしぎなヒーローやさん | みやにし たつや |
| おつきさまのパンケーキ | 真珠 まりこ |

▽休館日

- 【11月】4(木)・11(木)・18(木)・25(木)
- 【12月】2(木)・6(月)・9(木)・16(木)・23(木)
- 【年末年始】12月29日(水)から1月4日(火)まで

▽開館時間

- 平日: 10:00~18:00
- 土・日・祝: 10:00~17:00

市立図書館清里分館 TEL253-4588

子育て連写真コンテスト作品・野良犬獅子舞

リニューアル展示ご覧いただけます

清里公民館で清里地区子ども育成会連絡協議会主催の写真コンテストの作品を展示しています。どの写真も動物や草花への愛情、ふるさと清里への愛着を感じられ、温かい気持ちになれる素晴らしい作品です。ぜひご覧ください。

また、清野町で伝統を継承し、前橋市指定重要無形民俗文化財に登録されている「野良犬獅子舞」の紹介展示を清里地区生涯学習奨励委員会の協力でリニューアルしました。野良犬獅子舞保存会の方に提供していただいた貴重な写真と共にその歴史や行事内容などの解説を展示しております。ぜひご覧ください。



子育て連写真コンテストに応募された素晴らしい写真の数々

400年以上の歴史を誇る

清野町の八幡宮に伝わる獅子舞で、吉岡町南下の下八幡宮から慶長年間(1596~1615)に伝えられたといわれている。野良犬獅子舞の「野良犬」とは清野町の旧村名の一つである。

獅子舞の流派は「関白龍天流」といわれ、一人立ちの前獅子、中獅子、後獅子と呼ばれる3頭の獅子で舞う。その他にカンカチ・ササラ・棒使い・天狗・笛方・万灯や氏子中が加わり総勢20人を超える。獅子舞は毎年10月上旬の八幡宮の秋祭りに奉納される。

前橋市指定重要無形民俗文化財に登録されている「野良犬獅子舞」の紹介

野良犬獅子舞

指定年月日 昭和48年9月24日
所在地 前橋市清野町346 八幡宮

女性に対する暴力根絶のためのシンボルマーク

11月12日(金)から25日(木)まで

「女性に対する暴力をなくす運動」期間です

配偶者などからの女性に対する暴力、性犯罪、ストーカ行為、売買春、人身取引やセクハラなどの女性に対する暴力は、女性の人権を侵害するともに決して許されない行為です。ひとりで悩まないでまずは相談を!

相談先 ⅡDV電話相談(平日9:00~17:00) 027-8098-6524



不定期掲載 青里の歴史

平成10年に編纂された「清里村略記」の一部を紹介いたします。「明治」への足音 ●天明三年 浅間山の大噴火と飢饉から...

「火の国」といわれた日本のなかで、桜島や阿蘇山と並んで活発な火山活動を続けている浅間山が、天明期にも大爆発を起こし、上州に大きな被害を及ぼした。天明三年(一七八三)四月初旬、噴煙を空高く噴き上げ、鳴動を伴う不気味な地鳴りを続けた。四月中旬になって活動は衰えず、噴煙は偏西風に乗って、上州全域から長野、新潟、栃木、埼玉など近県にまで多量の灰を降らせた。(中略)清里地域にも多量の降灰があったと想像される。火山灰、火山砂、場所によっては火山礫も降って、農作物は壊滅的な被害を受けた。

砂や灰のやむ間もなく、大泥流が吾妻川に流れ込み、川を堰き止め、その膨大な量の熔岩流と水が、堤防の切れたようになって一気に利根川を押し下り、大洪水を起こした。(中略)

この浅間山噴火の際の惨状を、総社町・曾我鹿十郎氏所蔵の「浅間山焼砂一件日記」は、克明に伝えている。「七月八日、午の刻頃、利根川へ泥土満水、押し来る。(中略)人馬泥水に溺れ浮沈するさま見ゆ。人体は家の屋根・大木の類に取りつき、聲々に「我を引き上げ、助け給へ」と手を合わせ泣き叫ぶ。見る間に火石・焼砂、水中より燃え立ち、流れゆく人に突きあたり、たちまちに目前にて溺死かる有様、実に仏者の地獄と言うとも、これには増しがたく相見え、見る人皆涙を流し、無常を感じず。實に稀代の大変なり。」と、すさまじい惨状を書いている。

・・・浅間山噴火による未曾有の大災害の恐ろしさが痛切に伝わってきます。

